

区 分	総合教育センター科目群 高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	松本 俊雄			
授業科目	コミュニケーションⅢ					
英 訳	Communication Ⅲ					
配当年次	2年次 前期	必選別	選択	単位数	2単位	
【授業の概要】						
① 主としてビジネスの場面を想定し、演習問題により基本を復習し、応用力の向上を図る、 ② 「ロジカルプレゼンテーション」では、演習の内容をビデオ撮りし、フィードバックを行う。						
【授業の目的】						
① 自分の考えを言葉、文章で明確に伝える方法を学ぶ。 ② 自分の思いを相手に伝え、相手の行動の変化を求めるスキルの基礎から応用までを学ぶ。						
【到達目標】						
① 自分の考えを論理的に説明し、相手に納得してもらえることができる。 ② ボディランゲージ、視覚資料等を用いて、ロジカルプレゼンテーションができる。						
【準備学習(予習・復習)】						
前回の授業の内容をよく理解しておくこと。不明点は授業の中で質問すること。						
【授業計画】						
第 1回 「話す」ことの基本①(言葉遣い)						
第 2回 「話す」ことの基本②(敬語)						
第 3回 「書く」ことの基本①(論理的思考)						
第 4回 「書く」ことの基本②(レポート)						
第 5回 「書く」ことの基本③(ビジネス文書)						
第 6回 「聞く」ことの基本						
第 7回 総合演習						
第 8回 ロジカルプレゼンテーションとは						
第 9回 ロジカルプレゼンテーションの情報分析						
第10回 ロジカルプレゼンテーションの組み立て①						
第11回 ロジカルプレゼンテーションの組み立て②						
第12回 発声・ボディランゲージ・視覚資料の作成						
第13回 演習準備						
第14回 発表演習						
第15回 演習フィードバック						
【教科書】						
プリント資料を随時配布する。						
【参考書】						
授業中に適宜紹介する。						
【成績評価基準】						
演習課題への取り組み(70%)、小テスト(15%)、レポート(15%)						
【メッセージ】						
コミュニケーションスキルは、社会で働く上で必須の能力です。本授業では、ビジネスの場面を想定した、実践力の向上を目指します。是非、本授業を受けて、コミュニケーション能力の向上を図ってください。						

区 分	総合教育センター科目群 高城科目－基礎教育科目	担当教員	松本 俊雄			
授業科目	コミュニケーションⅣ					
英 訳	Communication Ⅳ					
配当年次	2年次 後期	必選別	選択	単位数	2単位	
【授業の概要】						
① 「ディベート」と「ネゴシエーション」のフレームワークを用いて、実践的な授業を行う。 ② ディベートでは、実際に試合を行い、ネゴシエーションでは、ケーススタディで、実践力を習得する。						
【授業の目的】						
① 自分の意見を論理的に述べ、相手の意見を明確に聴き、自分の主張を相手に受け入れさせる方法を学ぶ。 ② ネゴシエーションにおいて、お互いに利益を得て、満足する方法を学ぶ。						
【到達目標】						
① 論理的に自分の考えを述べることができ、相手を納得させることができる。 ② お互いに相手の利益を考え、アサーティブな態度でお互いが満足する交渉ができる。						
【準備学習(予習・復習)】						
前回の授業内容をよく理解しておくこと。特にネゴシエーションにおいては、前回までに学んだことを演習で実践する方法で、能力向上を目指す。						
【授業計画】						
第 1回 ディベートの基本①						
第 2回 ディベートの基本②						
第 3回 ディベートの基本③						
第 4回 ディベートの試合準備①						
第 5回 ディベートの試合準備②						
第 6回 ディベート試合①						
第 7回 ディベート試合②						
第 8回 ネゴシエーションとは						
第 9回 ネゴシエーションを構造的に捉える						
第10回 ネゴシエーションの理論						
第11回 ネゴシエーションの基本戦術①						
第12回 ネゴシエーションの基本戦術②						
第13回 ネゴシエーションの基本戦術③						
第14回 ネゴシエーションと信頼						
第15回 まとめ						
【教科書】						
授業中に随時プリント資料を配布する。						
【参考書】						
授業中に適宜紹介する。						
【成績評価基準】						
演習課題への取り組み (80%)、小テスト (20%)						
【メッセージ】						
演習中心の授業ですので、主体的に授業に参画することを求めます。授業が終了した時点で、実践的なコミュニケーション能力の向上が実感できます。						

区 分	総合教育センター科目群 高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	大塚 厚二、高石 武史			
授業科目	一般数学 I					
英 訳	Citizen Mathematics I					
配当年次	3 年次 後期	必選別	必修	単位数	2 単位	
【授業の概要】 社会人として必要とされる数学の基礎的事項をSPI等の非言語での出題問題を参考に学ぶ授業となっている。広く復習し、会社等で求める数理能力について、各単元において問題の解き方について考えていく。						
【授業の目的】 社会人として必要とされる数学の基礎事項を広く身につける。社会的及び職業的自立を図るために必要な計算力を診断し、不足している計算力を補うことを目指す。						
【到達目標】 実社会での応用を想定したSPI等の各種計算問題を解けるようにする。						
【準備学習(予習・復習)】 授業で学んだこと、解けなかった問題について必ず復習をする。						
【授業計画】 第 1 回 日常に現れる計算(料金・分割払いなど) 第 2 回 日常に現れる計算(表を読み取る) 第 3 回 仕事に現れる計算(損益・資料の読み取り) 第 4 回 仕事に現れる計算(装置と回路、物の流れと比率) 第 5 回 仕事に現れる計算(専門で使う計算) 第 6 回 数理パズルを解く 第 7 回 不等式 第 8 回 前半のまとめ、中間テスト 第 9 回 集合 第10回 推論、命題と論証 第11回 組み合わせ、確率 第12回 グラフの領域 第13回 進路・方角 第14回 空間図形 第15回 全体のまとめ 定期試験						
【教科書】 授業の際に指定						
【参考書】 授業において適宜指示する。						
【成績評価基準】 振り返りテスト(20%)、中間テスト(30%)、期末試験(30%)、授業態度(20%)で評価する						
【メッセージ】 授業では、基本問題の解法などの説明の後、教科書にない問題を解いてもらう。さらに、振り返りテストを行う。中間まとめの授業時に、中間テストを行う。 実社会で算数や数学を使うことを想定した問題では、文章を理解して計算式を作れることが求められる。計算は筆算だけで行い、電卓などは使用禁止となっている。						

区 分	総合教育センター科目群 高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	大塚 厚二、高石 武史			
授業科目	一般数学II					
英 訳	Citizen Mathematics II					
配当年次	3年次 後期	必選別	選択	単位数	2単位	
【授業の概要】 技術系の能力を測定する数学問題としてCAB/GAB等の技術系就職試験がある。高校で学んだような問題もあるが、これが数学なのかといった問題もある。SPI系が広く社会で求められる算数・数学の知識を見るのに対して、CAB/GAB等の違いを知ってもらい、社会で求められる数理能力を理解する。						
【授業の目的】 技術系社会人として必要とされる数学の基礎事項を広く身につける。						
【到達目標】 技術系社会人を想定した各種計算問題を解けるようにする。						
【準備学習(予習・復習)】 授業で学んだこと、解けなかった問題について必ず復習をする。						
【授業計画】 第 1回 ガイダンス (SPI と CAB/GAB で何を測るか) 第 2回 PERT 手法 第 3回 図形の長さ 第 4回 図形の面積、体積 第 5回 図形の展開図、証明 第 6回 空間図形 第 7回 ブラックボックス 第 8回 中間まとめ、中間テスト 第 9回 暗算 第10回 法則性 第11回 命令表1 第12回 命令表2 第13回 暗号 第14回 計数 第15回 全体のまとめ 定期試験						
【教科書】 授業の際に指定						
【参考書】 授業において適宜指示する。						
【成績評価基準】 振り返りテスト(20%)、中間テスト(30%)、期末試験(30%)、授業態度(20%)で評価する。						
【メッセージ】 授業では、基本問題の解法などの説明の後、教科書にない問題を解いてもらう。さらに、振り返りテストを行う。中間まとめの後、中間テストを行う。 技術系社会では、このような数学のセンスを必要としているのか、楽しむことが大切。						

区 分	総合教育センター科目群 高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	松本 俊雄			
授業科目	インターンシップ I					
英 訳	Internship I					
配当年次	3年次 前期	必選別	選択	単位数	1 単位	
【授業の概要】						
① インターンシップを効果的に行うため為に、「仕事」「業種」「企業」「職種」などの基礎を学ぶ。 ② インターンシップ先の選択、企業情報の収集、応募、実習報告の方法などを学ぶ。						
【授業の目的】						
① インターンシップに参加することで、実際の働く場で、今後の就職に関する様々な情報を習得する。 ② 自信を持ってインターンシップに参加することが出来るように、様々な知識を得る。						
【到達目標】						
① インターンシップに参加することができる。 ② インターンシップで、様々な就職に関する情報を得ることができる。						
【準備学習(予習・復習)】						
前回の授業内容をよく理解しておくこと。不明な点は授業の中で質問すること。						
【授業計画】						
第 1 回 インターンシップとは (インターンシップの意義)						
第 2 回 働くこととは (何のためにはたらくのか)						
第 3 回 会社研究 (会社とはどんなところ)						
第 4 回 職種研究 (職種にはどんなものがあるか)						
第 5 回 業界・企業研究①						
第 6 回 業界・企業研究②						
第 7 回 中間まとめ						
第 8 回 仕事の基本 (心構え・ビジネスマナー) ①						
第 9 回 仕事の基本 (心構え・ビジネスマナー) ②						
第10 回 仕事の基本 (心構え・ビジネスマナー) ③						
第11 回 実習希望先の選択						
第12 回 実習希望先へのエントリー						
第13 回 インターンシップ参加手続き						
第14 回 レポート、日誌等の作成方法						
第15 回 まとめ						
【教科書】						
授業中に、随時プリント資料を配布する。						
【参考書】						
授業中に適宜紹介する。						
【成績評価基準】						
演習課題への取り組み (60%)、レポート (40%)、						
【メッセージ】						
インターンシップは、「企業」の実態を知る大きなチャンスです。是非、積極的に受講し、卒業後のキャリアを考えるための、有益な機会として活用してください。						

区 分	総合教育センター科目群 高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	松本 俊雄			
授業科目	インターンシップⅡ					
英 訳	Internship Ⅱ					
配当年次	3年次 後期	必選別	選択	単位数	1単位	
【授業の概要】 インターンシップ受け入れ先での実習が主となります。 受け入れ企業でインターンシップの実習を行うことが前提となります。						
【授業の目的】 インターンシップの受け入れ企業での実習を行い、働く上での様々な経験、知識を得る。						
【到達目標】 インターンシップ実習を行い、今後のキャリアを考え上での、様々な有益な情報を得る。						
【準備学習(予習・復習)】 インターンシップ先に関する、様々な情報を収集すること。						
【授業計画】 第 1回 ガイダンス 第 2回 インターンシップ参加企業手続き (学内及び参加企業へ) 第 3回 レポート、日誌等の作成方法 第 4回 インターンシップの実習① 第 5回 インターンシップの実習② 第 6回 インターンシップの実習③ 第 7回 インターンシップの実習④ 第 8回 インターンシップの実習⑤ 第 9回 インターンシップの実習⑥ 第10回 インターンシップの実習⑦ 第11回 インターンシップの実習⑧ 第12回 インターンシップの実習⑨ 第13回 研修報告書の提出 第14回 実習報告会の準備 第15回 実習報告会						
【教科書】						
【参考書】						
【成績評価基準】 インターンシップ先からの評価 (70%)、レポート (30%)						
【メッセージ】 インターンシップを通して、卒業後のキャリアを考える上で、有益な体験をし、様々な情報を得ることを期待しています。						

区 分	総合教育センター科目群 高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	松本 俊雄			
授業科目	キャリアデザイン I					
英 訳	Career Design I					
配当年次	3年次 前期	必選別	必修	単位数	1 単位	
【授業の概要】						
① キャリアデザイン的前提となるキャリアビジョンを、様々な情報を基に「絵」で描く。 ② キャリアビジョン実現のためのキャリア開発計画書を作成し、今後の自己開発の手がかりを得る。						
【授業の目的】						
① 職業上の将来像をキャリアビジョンの形で描き、今後のキャリアの方向性を定める。 ② キャリアビジョン実現に向けての具体的方策を考える。						
【到達目標】						
① 自己のキャリアビジョンを「絵」として描くことが出来る。 ② 自己のキャリアビジョン実現のためのキャリア開発計画書が作成できる。						
【準備学習(予習・復習)】						
前回の授業内容をよく理解しておくこと。不明点は質問すること。						
【授業計画】						
第 1 回 キャリアデザインとは						
第 2 回 「働く」とは						
第 3 回 社会環境の分析						
第 4 回 企業環境の分析						
第 5 回 労働環境の分析						
第 6 回 自己分析①						
第 7 回 自己分析②						
第 8 回 キャリアビジョンを描く①						
第 9 回 キャリアビジョンを描く②						
第10回 キャリアビジョンを分かりやすく伝える						
第11回 キャリアビジョンのグループ発表&フィードバック						
第12回 キャリア開発計画書の作成						
第13回 キャリア開発計画書のグループ発表&フィードバック						
第14回 全体発表会						
第15回 全体発表会のフィードバック						
【教科書】						
授業中に随時プリント資料を配布する。						
【参考書】						
授業中に適宜紹介する。						
【成績評価基準】						
演習課題への取り組み (80%)、レポート (20%)						
【メッセージ】						
就職活動の第一歩は、自らが目指すキャリアビジョンを明確にすることです。本授業を、キャリアビジョンを考える場として活用してください。						

区 分	総合教育センター科目群 高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	松本 俊雄			
授業科目	キャリアデザインⅡ					
英 訳	Career Design Ⅱ					
配当年次	3年次 後期	必選別	必修	単位数	1単位	
【授業の概要】						
① 就職活動に必要な、社会人基礎力、エントリーシートの書き方、自己PRの仕方等を学ぶ。 ② 集団面接、個人面接の方法を、演習を通じて学び、ビデオ撮りしてフィードバックをする。						
【授業の目的】						
① キャリアビジョン実現の場を得るための就職活動に必要な知識、スキル等を学ぶ。 ② 学んだことが実際に出来る実践力を、演習を通じて習得する。						
【到達目標】						
自信をもって、自己のキャリアビジョン実現のための就職活動に臨むことが出来る。						
【準備学習(予習・復習)】						
前回の授業の内容をよく理解しておくこと。不明点は質問すること。						
【授業計画】						
第 1回 就職環境の理解／業界・業種研究						
第 2回 志望会社選択のポイント						
第 3回 会社説明会、会社訪問、先輩訪問のポイント						
第 4回 会社訪問演習						
第 5回 自己PR演習						
第 6回 エントリーシートの書き方①						
第 7回 エントリーシートの書き方②						
第 8回 エントリーシートの書き方③						
第 9回 社会人基礎力						
第10回 ビジネスマナー①						
第11回 ビジネスマナー②						
第12回 集団面接演習						
第13回 集団面接演習フィードバック						
第14回 個人面接演習						
第15回 個人面接演習フィードバック						
【教科書】						
授業中に随時プリント資料を配布する。						
【参考書】						
授業中に適宜紹介する。						
【成績評価基準】						
演習課題への取り組み (80%)、レポート (20%)						
【メッセージ】						
就職活動を成功させるためには、事前準備をしつかりすることが重要です。本授業を受けることで、自信をもって行動することが出来ます。						

区 分	総合教育センター科目群 高城科目ーキャリア教育科目	担当教員	橋元 純也		
授業科目	特別キャンパス活動				
英 訳	Special Activities on Campus				
配当年次	1年次～3年次	必選別	選択	単位数	1～4単位
【授業の概要】 活動責任者（本大学の教職員）の指導・監督のもと課外活動をおこない、その内容・活動時間に応じて単位が認定される。					
【授業の目的】 ①スポーツ活動・芸術活動・ボランティア活動といった各種の課外活動を積極的におこなう学生を支援し、②その支援を通じて、自主性・コミュニケーション能力・企画力などを養成し、地域社会に貢献するための人間形成に役立てる。					
【到達目標】 課外活動に積極的に取り組み、みずからの個性・持ち味に応じた能力を身につける。					
【準備学習(予習・復習)】 活動中・およびその前後において、活動責任者との連絡を密にし、その指導・監督を仰ぐこと。					
【授業計画】 1. 「教育計画書」の提出 活動学生が単位取得を希望する場合、学生の自治組織である学友会所属のクラブ・サークルなどの団体、および学友会以外の自主的な活動団体・個人を指導・監督する活動責任者（本大学の教職員）に「教育計画書」の提出を求める。「教育計画書」には、活動グループ名・活動責任者名の他、活動の目的・活動期間・活動の概略・参加学生リストなど必要事項を記載する。 2. 「活動認定書」の提出 活動責任者が活動終了後に単位認定を申請する場合、「活動認定書」の提出を求める。「活動認定書」には、活動によって得られた教育効果などを記載するとともに、単位認定を申請する活動学生リスト（学生番号・氏名・活動の合計時間）、および活動内容資料（活動記録・写真・ブログ記事・報道資料など）を添付する。 3. 審査と単位認定 提出された「教育計画書」「活動認定書」および添付資料は、総合教育センター長の招集する総合教育センター連絡会において審査し、活動時間・内容に応じて、活動学生ごとに単位を認定する。なお、科目担当者は、各活動責任者との連絡、提出書類のとりまとめ、単位認定の原案作成などを担当する。					
【教科書】 なし。					
【参考書】 なし。					
【成績評価基準】 成績評価は合否判定方式でおこなう。なお、合格の場合の取得単位数は、原則30時間の活動で1単位とし、半期2単位まで、合計4単位までの認定とする。					
【メッセージ】 科目履修登録と単位認定は、ともに3年生後期におこないます。					